

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 京都府

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	洛南病院	2
-	与謝の海病院	3
福知山市	福知山市民病院	4
福知山市	福知山市民病院 大江分院	5
舞鶴市	舞鶴市民病院	6
綾部市	綾部市立病院	7
亀岡市	市立病院	8
京丹後市	京丹後市立弥栄病院	9
京丹後市	京丹後市立久美浜病院	10
精華町	国保病院	11
京丹波町	国保京丹波町病院	12
国民健康保険南丹病院組合	京都中部総合医療センター	13
国民健康保険山城病院組合	京都山城総合医療センター	14

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名					
病院名 洛南病院					
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,227 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	1	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	256	45.4	49.9	52.8
感染症	-	-	-	-
計	256	45.4	49.9	52.8
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,578,087	
決算規模(千円)	1,155,652,494	
標準財政規模(千円)	534,645,298	
財政力指数	0.56087	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.5
	将来負担比率(%)	272.1

損益計算書 (千円・%)					
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均	
総収益	2,607,210				
1 経常収益	2,607,133				
(1) 医業収益	1,428,338				
(うち修正医業収益)	1,395,458				
入院収益	1,075,934				
外来収益	311,784				
診療収入計	1,387,718				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	40,620				
(うち他会計負担金)	32,880				
(2) 医業外収益	1,178,795				
(うち国・都道府県補助金)	244,104				
(うち他会計補助・負担金)	925,056				
(うち長期前受金戻入)	3,842				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	77				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	2,589,321				
2 経常費用	2,589,099				
(1) 医業費用	2,520,496				
職員給与費	1,803,248	126.2	59.4	105.1	
材料費	192,011	13.4	26.1	9.8	
(うち薬品費)	152,822	10.7	14.0	6.8	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	7,293	0.5	11.8	1.6	
減価償却費	89,097	6.2	8.7	12.8	
経費	431,268	30.2	22.1	35.3	
(うち委託料)	207,667	14.5	11.7	17.0	
研究研修費	4,777				
資産減耗費	95				
(2) 医業外費用	68,603				
(うち支払利息)	2,515	0.2	1.0	2.4	
(3) 特別損失	222				
経常損益	18,034				
純損益	17,889				
累積欠損金	3,742,169				
経常収支比率	100.7		103.3	101.8	
医業収支比率	56.7		85.5	61.1	
修正医業収支比率	55.4		82.8	58.7	
他会計繰入金対経常収益比率	36.7		11.1	32.9	
他会計繰入金対医業収益比率	67.1		14.1	57.0	
他会計繰入金対総収益比率	36.7		11.0	32.7	
実質収益対経常費用比率	63.7		91.9	68.3	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)		
区分	決算額	
資産合計	4,783,792	
1 固定資産	2,491,840	
(1) 有形固定資産	2,435,309	
(2) 無形固定資産	8,065	
(3) 投資その他の資産	48,466	
2 流動資産	2,291,952	
(1) 現金及び預金	1,871,614	
(2) 未収金及び未収収益	410,399	
(3) 貸倒引当金()	114	
(4) 貯蔵品	10,053	
3 繰延資産	-	
負債合計	1,050,622	
1 固定負債	558,219	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	525,219	
(2) その他の企業債	28,000	
(3) 再建債(特例債含む)	-	
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(5) その他の長期借入金	-	
(6) 引当金	-	
(7) 一ス債務	-	
2 流動負債	400,505	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	139,191	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	113,199	
(6) リ一ス債務	-	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	135,455	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	91,898	
(1) 長期前受金	234,089	
(2) 長期前受金収益化累計額()	142,191	
(3) 繰延運営権対価	-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-	
(5) 運営権者更新投資	-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-	
資本合計	3,733,170	
1 資本金	7,471,286	
2 剰余金	-3,738,116	
(1) 資本剰余金	4,053	
(2) 利益剰余金	-3,742,169	
負債・資本合計	4,783,792	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額()	-	
資本不足額(繰延収益控除後)()	-	
備考		
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。		

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	957,936	957,936
資本勘定繰入	-	-
計	957,936	957,936

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	262.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名			
病院名	与謝の海病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	2,578,087	
決算規模(千円)	1,155,652,494	
標準財政規模(千円)	534,645,298	
財政力指数	0.56087	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.5
	将来負担比率(%)	272.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,857			
1 経常収益	6,857			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	6,857			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	6,857			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,857			
2 経常費用	6,857			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	63.7
材料費	-	-	26.1	21.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	-	-	8.7	9.7
経費	-	-	22.1	28.9
(うち委託料)	-	-	11.7	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	6,857			
(うち支払利息)	6,857	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.8
医業収支比率	-		85.5	80.8
修正医業収支比率	-		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	-		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	4,569	6,857
資本勘定繰入	83,852	125,779
計	88,421	132,636

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	262.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	福知山市				
病院名	福知山市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	32,284 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	27	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	344	88.1	88.8	88.8
療養	-	-	-	-
結核	6	45.6	25.0	28.0
精神	-	-	-	-
感染症	4	67.3	57.0	27.9
計	354	87.1	87.3	87.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.9	12.9	13.2

設立団体の状況		
人口(人)	77,306	
決算規模(千円)	45,827,537	
標準財政規模(千円)	24,416,312	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	33.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,770,089			
1 経常収益	15,745,774			
(1) 医業収益	14,152,538			
(うち修正医業収益)	13,944,932			
入院収益	8,419,629			
外来収益	4,930,214			
診療収入計	13,349,843			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	802,695			
(うち他会計負担金)	207,606			
(2) 医業外収益	1,593,236			
(うち国・都道府県補助金)	417,881			
(うち他会計補助・負担金)	586,333			
(うち長期前受金戻入)	527,104			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	24,315			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,331,841			
2 経常費用	15,268,794			
(1) 医業費用	14,270,323			
職員給与費	6,110,486	43.2	59.4	59.0
材料費	4,215,976	29.8	26.1	25.6
(うち薬品費)	2,823,071	19.9	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,392,905	9.8	11.8	11.2
減価償却費	1,116,833	7.9	8.7	8.6
経費	2,774,069	19.6	22.1	21.3
(うち委託料)	1,149,139	8.1	11.7	11.6
研究研修費	46,691			
資産減耗費	6,268			
(2) 医業外費用	998,471			
(うち支払利息)	127,345	0.9	1.0	1.1
(3) 特別損失	63,047			
損益	476,980			
純損益	438,248			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.1		103.3	104.8
医業収支比率	99.2		85.5	87.0
修正医業収支比率	97.7		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.0		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	5.6		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	5.0		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	97.9		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	25,540,569
1 固定資産	15,179,739
(1) 有形固定資産	14,877,431
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	302,308
2 流動資産	10,360,830
(1) 現金及び預金	7,666,318
(2) 未収金及び未収収益	2,655,771
(3) 貸倒引当金()	3,623
(4) 貯蔵品	40,997
3 繰延資産	-
負債合計	12,254,168
1 固定負債	8,072,863
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,890,902
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,181,961
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,751,155
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	930,265
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	367,457
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,395,172
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,430,150
(1) 長期前受金	6,271,963
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,841,813
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	13,286,401
1 資本金	5,090,323
2 剰余金	8,196,078
(1) 資本金剰余金	7,380,196
(2) 利益剰余金	815,882
負債・資本合計	25,540,569
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	1,071,140	793,939
資本勘定繰入	540,505	479,892
計	1,611,645	1,273,831

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	福知山市				
病院名	福知山市民病院 大江分院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,240 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	83.1	82.0
療養	52	88.3	74.9	87.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	52	88.3	79.7	84.2
平均在院日数(一般病床のみ)		-	26.0	25.0

設立団体の状況		
人口(人)	77,306	
決算規模(千円)	45,827,537	
標準財政規模(千円)	24,416,312	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	92.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	33.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	723,181			
1 経常収益	712,186			
(1) 医業収益	563,802			
(うち修正医業収益)	563,802			
入院収益	421,673			
外来収益	123,335			
診療収入計	545,008			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	18,794			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	148,384			
(うち国・都道府県補助金)	15,844			
(うち他会計補助・負担金)	63,361			
(うち長期前受金戻入)	37,327			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	10,995			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	665,015			
2 経常費用	664,043			
(1) 医業費用	610,759			
職員給与費	409,589	72.6	59.4	76.5
材料費	32,920	5.8	26.1	14.9
(うち薬品費)	24,182	4.3	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	8,738	1.5	11.8	6.4
減価償却費	36,145	6.4	8.7	11.5
経費	130,704	23.2	22.1	32.6
(うち委託料)	51,433	9.1	11.7	14.8
研究研修費	1,090			
資産減耗費	311			
(2) 医業外費用	53,284			
(うち支払利息)	2,546	0.5	1.0	1.3
(3) 特別損失	972			
損益	48,143			
純損益	58,166			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.2		103.3	101.5
医業収支比率	92.3		85.5	73.2
修正医業収支比率	92.3		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.9		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.2		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	8.8		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	97.7		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	25,540,569
1 固定資産	15,179,739
(1) 有形固定資産	14,877,431
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	302,308
2 流動資産	10,360,830
(1) 現金及び預金	7,666,318
(2) 未収金及び未収収益	2,655,771
(3) 貸倒引当金()	3,623
(4) 貯蔵品	40,997
3 繰延資産	-
負債合計	12,254,168
1 固定負債	8,072,863
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,890,902
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,181,961
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,751,155
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	930,265
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	367,457
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,395,172
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,430,150
(1) 長期前受金	6,271,963
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,841,813
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	13,286,401
1 資本金	5,090,323
2 剰余金	8,196,078
(1) 資本金剰余金	7,380,196
(2) 利益剰余金	815,882
負債・資本合計	25,540,569
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	62,250	63,361
資本勘定繰入	19,017	34,425
計	81,267	97,786

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	舞鶴市				
病院名	舞鶴市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,671 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	へ		
許可公営企業		看護配置	20:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	100	87.1	86.3	93.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	87.1	86.3	93.3
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	80,336	
決算規模(千円)	38,189,693	
標準財政規模(千円)	19,996,499	
財政力指数	0.64	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.1
	将来負担比率(%)	78.5

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	955,140			
1 経常収益	954,499			
(1) 医業収益	711,411			
(うち修正医業収益)	711,411			
入院収益	656,163			
外来収益	40,002			
診療収入計	696,165			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	15,246			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	243,088			
(うち国・都道府県補助金)	4,271			
(うち他会計補助・負担金)	205,765			
(うち長期前受金戻入)	27,802			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	641			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	963,269			
2 経常費用	962,501			
(1) 医業費用	926,250			
職員給与費	638,029	89.7	59.4	67.0
材料費	59,864	8.4	26.1	18.2
(うち薬品費)	25,393	3.6	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,625	3.7	11.8	9.4
減価償却費	74,668	10.5	8.7	10.2
経費	149,219	21.0	22.1	28.8
(うち委託料)	80,918	11.4	11.7	13.2
研究研修費	3,811			
資産減耗費	659			
(2) 医業外費用	36,251			
(うち支払利息)	12,198	1.7	1.0	1.1
(3) 特別損失	768			
損益	-8,002			
純損益	-8,129			
累積欠損金	33,563			
経常収支比率	99.2		103.3	104.5
医業収支比率	76.8		85.5	80.1
修正医業収支比率	76.8		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	21.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	28.9		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	21.5		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	77.8		91.9	88.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,483,881
1 固定資産	1,717,823
(1) 有形固定資産	1,684,570
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	33,253
2 流動資産	766,058
(1) 現金及び預金	609,518
(2) 未収金及び未収収益	155,387
(3) 貸倒引当金()	968
(4) 貯蔵品	2,121
3 繰延資産	-
負債合計	1,462,447
1 固定負債	1,146,959
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	985,640
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	158,031
(7) 一ス債務	3,288
2 流動負債	175,239
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	75,540
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,470
(6) リ一ス債務	1,148
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	60,248
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	140,249
(1) 長期前受金	371,105
(2) 長期前受金収益化累計額()	230,856
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,021,434
1 資本金	789,561
2 剰余金	231,873
(1) 資本金剰余金	265,436
(2) 利益剰余金	-33,563
負債・資本合計	2,483,881
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	205,765	205,765
資本勘定繰入	36,835	36,835
計	242,600	242,600

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	4.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	綾部市				
病院名	綾部市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	17,662 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨 へ		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(代行制)		
		類似区分	200床以上~300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	206	66.9	71.7	70.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	206	66.9	71.7	70.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.6	14.7	15.8

設立団体の状況		
人口(人)	31,846	
決算規模(千円)	19,140,660	
標準財政規模(千円)	10,066,113	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	90.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.4
	将来負担比率(%)	97.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,613,850			
1 経常収益	6,611,024			
(1) 医業収益	6,056,260			
(うち修正医業収益)	6,018,916			
入院収益	2,752,921			
外来収益	3,090,515			
診療収入計	5,843,436			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	212,824			
(うち他会計負担金)	37,344			
(2) 医業外収益	554,764			
(うち国・都道府県補助金)	321,210			
(うち他会計補助・負担金)	98,398			
(うち長期前受金戻入)	63,087			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,826			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	6,646,773			
2 経常費用	6,620,383			
(1) 医業費用	6,504,469			
職員給与費	17,558	0.3	59.4	63.7
材料費	-	-	26.1	21.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	402,252	6.6	8.7	9.7
経費	6,071,993	100.3	22.1	28.9
(うち委託料)	1,219	-	11.7	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	12,666			
(2) 医業外費用	115,914			
(うち支払利息)	27,559	0.5	1.0	1.1
(3) 特別損失	26,390			
経常損益	-9,359			
純損益	-32,923			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.9		103.3	101.8
医業収支比率	93.1		85.5	80.8
修正医業収支比率	92.5		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	2.1		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	2.2		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	2.1		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	97.8		91.9	89.2

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,657,904
1 固定資産	6,325,014
(1) 有形固定資産	5,719,597
(2) 無形固定資産	1,584
(3) 投資その他の資産	603,833
2 流動資産	2,332,890
(1) 現金及び預金	923,486
(2) 未収金及び未収収益	1,435,119
(3) 貸倒引当金()	25,715
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,183,077
1 固定負債	1,816,800
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,816,800
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	548,471
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	171,846
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	819
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	367,091
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	817,806
(1) 長期前受金	1,635,310
(2) 長期前受金収益化累計額()	817,504
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,474,827
1 資本金	3,125,700
2 剰余金	2,349,127
(1) 資本剰余金	149,382
(2) 利益剰余金	2,199,745
負債・資本合計	8,657,904
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	460,057	135,742
資本勘定繰入	125,548	32,158
計	585,605	167,900

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			京都府
市町村・組合名	亀岡市		
病院名	市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	9,947 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	14	指定病院の状況	救
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	100	68.5	69.9	71.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	68.5	69.9	71.1
平均在院日数(一般病床のみ)		14.5	15.7	15.1

設立団体の状況	
人口(人)	86,174
決算規模(千円)	44,320,264
標準財政規模(千円)	19,645,837
財政力指数	0.58
経常収支比率(%)	94.0
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 12.9 70.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,497,533			
1 経常収益	3,497,533			
(1) 医業収益	2,791,397			
(うち修正医業収益)	2,604,200			
入院収益	1,754,131			
外来収益	755,368			
診療収入計	2,509,499			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	281,898			
(うち他会計負担金)	187,197			
(2) 医業外収益	706,136			
(うち国・都道府県補助金)	200,596			
(うち他会計補助・負担金)	369,521			
(うち長期前受金戻入)	14,157			
(うち資本費繰入収益)	108,556			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,376,278			
2 経常費用	3,349,445			
(1) 医業費用	3,168,738			
職員給与費	1,495,780	53.6	59.4	67.0
材料費	959,235	34.4	26.1	18.2
(うち薬品費)	195,497	7.0	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	763,738	27.4	11.8	9.4
減価償却費	150,060	5.4	8.7	10.2
経費	551,719	19.8	22.1	28.8
(うち委託料)	291,395	10.4	11.7	13.2
研究研修費	2,293			
資産減耗費	9,651			
(2) 医業外費用	180,707			
(うち支払利息)	35,826	1.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	26,833			
損益	148,088			
純損益	121,255			
累積欠損金	453,467			
経常収支比率	104.4		103.3	104.5
医業収支比率	88.1		85.5	80.1
修正医業収支比率	82.2		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	15.9		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	19.9		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	15.9		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	87.8		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,319,222
1 固定資産	2,613,008
(1) 有形固定資産	2,613,008
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	706,214
(1) 現金及び預金	100,019
(2) 未収金及び未収収益	584,576
(3) 貸倒引当金()	138
(4) 貯蔵品	21,711
3 繰延資産	-
負債合計	3,416,696
1 固定負債	2,286,529
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,153,009
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	133,520
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	940,823
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	323,853
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	87,833
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	528,537
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	189,344
(1) 長期前受金	292,400
(2) 長期前受金収益化累計額()	103,056
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-97,474
1 資本金	355,993
2 剰余金	-453,467
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-453,467
負債・資本合計	3,319,222
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	97,474
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	506,552	556,718
資本勘定繰入	108,556	108,556
計	615,108	665,274

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	16.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	京丹後市				
病院名	京丹後市立弥栄病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	15,714 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	19	指定病院の状況	救臨へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	199	67.7	66.8	66.0
療養	-	-	61.2	82.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	199	67.7	66.6	70.2
平均在院日数(一般病床のみ)		16.4	16.3	16.8

設立団体の状況		
人口(人)	50,860	
決算規模(千円)	38,115,585	
標準財政規模(千円)	20,609,996	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.8
	将来負担比率(%)	118.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	4,241,588			
1 経常収益	4,221,238			
(1) 医業収益	3,352,139			
(うち修正医業収益)	3,105,285			
入院収益	1,782,866			
外来収益	1,151,589			
診療収入計	2,934,455			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	417,684			
(うち他会計負担金)	246,854			
(2) 医業外収益	869,099			
(うち国・都道府県補助金)	422,268			
(うち他会計補助・負担金)	261,723			
(うち長期前受金戻入)	160,258			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	20,350			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,405,428			
2 経常費用	4,187,275			
(1) 医業費用	4,002,396			
職員給与費	1,879,946	56.1	59.4	67.0
材料費	684,812	20.4	26.1	18.2
(うち薬品費)	306,171	9.1	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	346,029	10.3	11.8	9.4
減価償却費	428,844	12.8	8.7	10.2
経費	997,757	29.8	22.1	28.8
(うち委託料)	314,494	9.4	11.7	13.2
研究研修費	8,268			
資産減耗費	2,769			
(2) 医業外費用	184,879			
(うち支払利息)	33,479	1.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	218,153			
損益	33,963			
純損益	-163,840			
累積欠損金	2,011,927			
経常収支比率	100.8		103.3	104.5
医業収支比率	83.8		85.5	80.1
修正医業収支比率	77.6		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	12.0		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	15.2		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	12.0		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	88.7		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,392,528
1 固定資産	7,761,505
(1) 有形固定資産	7,334,832
(2) 無形固定資産	1,509
(3) 投資その他の資産	425,164
2 流動資産	1,631,023
(1) 現金及び預金	491,887
(2) 未収金及び未収収益	1,153,197
(3) 貸倒引当金()	39,772
(4) 貯蔵品	25,615
3 繰延資産	-
負債合計	9,226,361
1 固定負債	6,164,559
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,004,224
(2) その他の企業債	157,472
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	2,863
2 流動負債	1,960,533
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	518,628
(2) その他の企業債	23,106
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	236,055
(6) リ一ス債務	2,485
(7) 一時借入金	650,000
(8) 未払金及び未払費用	511,811
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,101,269
(1) 長期前受金	4,854,030
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,752,761
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	166,167
1 資本金	1,449,347
2 剰余金	-1,283,180
(1) 資本剰余金	2,409,146
(2) 利益剰余金	-3,692,326
負債・資本合計	9,392,528
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	549,182	508,577
資本勘定繰入	110,689	178,114
計	659,871	686,691

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	391,972	6.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	62.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	京丹後市				
病院名	京丹後市立久美浜病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	9,602 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	17	指定病院の状況	救臨 へ		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	110	71.3	80.5	74.0
療養	60	74.1	78.0	76.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	170	72.3	79.6	74.7
平均在院日数(一般病床のみ)		16.7	14.2	13.5

設立団体の状況		
人口(人)	50,860	
決算規模(千円)	38,115,585	
標準財政規模(千円)	20,609,996	
財政力指数	0.29	
経常収支比率(%)	94.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.8
	将来負担比率(%)	118.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,088,983			
1 経常収益	3,024,608			
(1) 医業収益	2,594,136			
(うち修正医業収益)	2,413,920			
入院収益	1,394,879			
外来収益	941,565			
診療収入計	2,336,444			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	257,692			
(うち他会計負担金)	180,216			
(2) 医業外収益	430,472			
(うち国・都道府県補助金)	83,427			
(うち他会計補助・負担金)	222,442			
(うち長期前受金戻入)	86,084			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	64,375			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,236,809			
2 経常費用	3,003,325			
(1) 医業費用	2,894,681			
職員給与費	1,733,237	66.8	59.4	67.0
材料費	314,661	12.1	26.1	18.2
(うち薬品費)	114,713	4.4	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	158,562	6.1	11.8	9.4
減価償却費	137,249	5.3	8.7	10.2
経費	696,781	26.9	22.1	28.8
(うち委託料)	310,663	12.0	11.7	13.2
研究研修費	11,312			
資産減耗費	1,441			
(2) 医業外費用	108,644			
(うち支払利息)	14,852	0.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	233,484			
損益	21,283			
純損益	-147,826			
累積欠損金	1,680,399			
経常収支比率	100.7		103.3	104.5
医業収支比率	89.6		85.5	80.1
修正医業収支比率	83.4		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	13.3		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	15.5		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	13.0		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	87.3		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,392,528
1 固定資産	7,761,505
(1) 有形固定資産	7,334,832
(2) 無形固定資産	1,509
(3) 投資その他の資産	425,164
2 流動資産	1,631,023
(1) 現金及び預金	491,887
(2) 未収金及び未収収益	1,153,197
(3) 貸倒引当金()	39,772
(4) 貯蔵品	25,615
3 繰延資産	-
負債合計	9,226,361
1 固定負債	6,164,559
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,004,224
(2) その他の企業債	157,472
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	2,863
2 流動負債	1,960,533
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	518,628
(2) その他の企業債	23,106
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	236,055
(6) リース債務	2,485
(7) 一時借入金	650,000
(8) 未払金及び未払費用	511,811
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,101,269
(1) 長期前受金	4,854,030
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,752,761
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	166,167
1 資本金	1,449,347
2 剰余金	-1,283,180
(1) 資本剰余金	2,409,146
(2) 利益剰余金	-3,692,326
負債・資本合計	9,392,528
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	401,622	402,658
資本勘定繰入	121,848	190,001
計	523,470	592,659

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	391,972	6.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	62.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	精華町				
病院名	国保病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	2,910 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	10	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	86.6	87.6	89.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	86.6	87.6	89.2
平均在院日数(一般病床のみ)		44.0	37.6	50.1

設立団体の状況		
人口(人)	36,198	
決算規模(千円)	14,646,375	
標準財政規模(千円)	8,944,386	
財政力指数	0.72	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.0
	将来負担比率(%)	42.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	27,982			
1 経常収益	27,982			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	27,982			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	10,056			
(うち長期前受金戻入)	17,353			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	40,460			
2 経常費用	40,460			
(1) 医業費用	40,459			
職員給与費	8,587	-	59.4	76.5
材料費	-	-	26.1	14.9
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	6.4
減価償却費	29,784	-	8.7	11.5
経費	2,088	-	22.1	32.6
(うち委託料)	979	-	11.7	14.8
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1			
(うち支払利息)	1	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損	-12,478			
純損	-12,478			
累積欠損金	-			
経常収支比率	69.2		103.3	101.5
医業収支比率	-		85.5	73.2
修正医業収支比率	-		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	35.9		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	35.9		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	44.3		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	472,509
1 固定資産	460,298
(1) 有形固定資産	459,814
(2) 無形固定資産	484
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	12,211
(1) 現金及び預金	10,803
(2) 未収金及び未収収益	1,408
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	279,810
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	2,213
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	805
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,408
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	277,597
(1) 長期前受金	787,644
(2) 長期前受金収益化累計額()	510,047
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	192,699
1 資本金	77,450
2 剰余金	115,249
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	115,249
負債・資本合計	472,509
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	292	10,056
資本勘定繰入	1,246	2,493
計	1,538	12,549

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				京都府	
市町村・組合名	京丹波町				
病院名	国保京丹波町病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,436 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救 へ		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	47	55.9	57.3	55.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	47	55.9	57.3	55.4
平均在院日数(一般病床のみ)		21.3	22.1	20.5

設立団体の状況		
人口(人)	12,907	
決算規模(千円)	11,298,071	
標準財政規模(千円)	6,841,550	
財政力指数	0.27	
経常収支比率(%)	90.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	16.1
	将来負担比率(%)	76.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	971,447			
1 経常収益	971,447			
(1) 医業収益	654,865			
(うち修正医業収益)	620,268			
入院収益	265,942			
外来収益	294,434			
診療収入計	560,376			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	94,489			
(うち他会計負担金)	34,597			
(2) 医業外収益	316,582			
(うち国・都道府県補助金)	24,490			
(うち他会計補助・負担金)	252,516			
(うち長期前受金戻入)	13,636			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	946,957			
2 経常費用	946,957			
(1) 医業費用	912,796			
職員給与費	595,149	90.9	59.4	87.7
材料費	58,716	9.0	26.1	13.6
(うち薬品費)	32,370	4.9	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	19,312	2.9	11.8	5.9
減価償却費	58,185	8.9	8.7	12.7
経費	197,939	30.2	22.1	45.1
(うち委託料)	120,309	18.4	11.7	21.3
研究研修費	319			
資産減耗費	2,488			
(2) 医業外費用	34,161			
(うち支払利息)	5,963	0.9	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	24,490			
純損益	24,490			
累積欠損金	332,385			
経常収支比率	102.6		103.3	101.7
医業収支比率	71.7		85.5	62.5
修正医業収支比率	68.0		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	29.6		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	43.8		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	29.6		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	72.3		91.9	67.5

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,899,036
1 固定資産	1,373,016
(1) 有形固定資産	1,345,548
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	27,468
2 流動資産	526,020
(1) 現金及び預金	360,694
(2) 未収金及び未収収益	163,061
(3) 貸倒引当金()	2,586
(4) 貯蔵品	4,851
3 繰延資産	-
負債合計	655,239
1 固定負債	314,848
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	314,848
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	115,944
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	37,760
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	32,766
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	45,418
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	224,447
(1) 長期前受金	417,603
(2) 長期前受金収益化累計額()	193,156
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,243,797
1 資本金	1,537,976
2 剰余金	-294,179
(1) 資本剰余金	32,516
(2) 利益剰余金	-326,695
負債・資本合計	1,899,036
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	285,122	287,113
資本勘定繰入	24,598	24,598
計	309,720	311,711

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	50.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		京都府	
市町村・組合名	国民健康保険南丹病院組合		
病院名	京都中部総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	33,447 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	31	指定病院の状況	救臨感へ災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	450	71.1	71.1	69.6
療養	-	-	-	-
結核	10	-	-	3.6
精神	-	-	-	-
感染症	4	152.6	-	-
計	464	70.3	69.0	67.5
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	14.7	15.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,227,891			
1 経常収益	12,227,891			
(1) 医業収益	10,890,393			
(うち修正医業収益)	10,740,393			
入院収益	6,994,775			
外来収益	3,532,777			
診療収入計	10,527,552			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	362,841			
(うち他会計負担金)	150,000			
(2) 医業外収益	1,337,498			
(うち国・都道府県補助金)	533,420			
(うち他会計補助・負担金)	222,313			
(うち長期前受金戻入)	45,190			
(うち資本費繰入収益)	333,094			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,648,458			
2 経常費用	11,648,458			
(1) 医業費用	10,881,466			
職員給与費	5,472,355	50.2	59.4	57.2
材料費	2,644,534	24.3	26.1	28.0
(うち薬品費)	1,251,084	11.5	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,393,450	12.8	11.8	12.7
減価償却費	526,743	4.8	8.7	8.0
経費	2,203,249	20.2	22.1	19.0
(うち委託料)	1,328,311	12.2	11.7	10.0
研究研修費	28,612			
資産減耗費	5,973			
(2) 医業外費用	766,992			
(うち支払利息)	46,256	0.4	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	579,433			
純損益	579,433			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.0		103.3	103.2
医業収支比率	100.1		85.5	88.6
修正医業収支比率	98.7		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	3.0		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	3.4		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	3.0		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	101.8		91.9	93.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	16,983,774
1 固定資産	10,978,793
(1) 有形固定資産	8,976,597
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	2,002,196
2 流動資産	6,004,981
(1) 現金及び預金	3,091,355
(2) 未収金及び未収収益	2,824,012
(3) 貸倒引当金()	23,676
(4) 貯蔵品	104,571
3 繰延資産	-
負債合計	7,008,409
1 固定負債	3,420,872
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,420,872
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	2,405,468
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	533,186
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	598,084
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,190,832
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,182,069
(1) 長期前受金	2,265,574
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,083,505
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	9,975,365
1 資本金	7,738,988
2 剰余金	2,236,377
(1) 資本剰余金	1,002,736
(2) 利益剰余金	1,233,641
負債・資本合計	16,983,774
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	685,365	372,313
資本勘定繰入	333,094	333,094
計	1,018,459	705,407

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名 京都府	
市町村・組合名	国民健康保険山城病院組合		
病院名	京都山城総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,992 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	25	指定病院の状況	救臨感災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	311	71.0	67.8	67.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	10	35.5	62.7	37.6
計	321	69.9	67.6	66.3
平均在院日数(一般病床のみ)		13.3	12.5	13.3

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,180,769			
1 経常収益	9,180,641			
(1) 医業収益	7,775,936			
(うち修正医業収益)	7,722,838			
入院収益	4,893,206			
外来収益	2,576,636			
診療収入計	7,469,842			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	306,094			
(うち他会計負担金)	53,098			
(2) 医業外収益	1,404,705			
(うち国・都道府県補助金)	763,123			
(うち他会計補助・負担金)	319,797			
(うち長期前受金戻入)	153,559			
(うち資本費繰入収益)	109,859			
(3) 特別利益	128			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,783,876			
2 経常費用	8,716,562			
(1) 医業費用	8,289,513			
職員給与費	4,157,060	53.5	59.4	59.0
材料費	2,054,729	26.4	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,045,912	13.5	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	951,169	12.2	11.8	11.2
減価償却費	463,395	6.0	8.7	8.6
経費	1,593,677	20.5	22.1	21.3
(うち委託料)	679,074	8.7	11.7	11.6
研究研修費	12,236			
資産減耗費	8,416			
(2) 医業外費用	427,049			
(うち支払利息)	62,590	0.8	1.0	1.1
(3) 特別損失	67,314			
損益	464,079			
純損益	396,893			
累積欠損金	-			
経常収支比率	105.3		103.3	104.8
医業収支比率	93.8		85.5	87.0
修正医業収支比率	93.2		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.1		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	4.8		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	4.1		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	101.0		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,267,582
1 固定資産	6,917,530
(1) 有形固定資産	6,570,301
(2) 無形固定資産	628
(3) 投資その他の資産	346,601
2 流動資産	3,350,052
(1) 現金及び預金	1,297,552
(2) 未収金及び未収収益	1,939,015
(3) 貸倒引当金()	901
(4) 貯蔵品	114,386
3 繰延資産	-
負債合計	5,976,422
1 固定負債	2,891,434
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,884,287
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	7,147
2 流動負債	1,623,972
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	670,436
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	294,375
(6) リ一ス債務	1,769
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	628,564
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,461,016
(1) 長期前受金	3,073,120
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,612,104
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,291,160
1 資本金	4,262,963
2 剰余金	28,197
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	28,197
負債・資本合計	10,267,582
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	550,904	372,895
資本勘定繰入	384,484	273,797
計	935,388	646,692

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。